

第 108 号

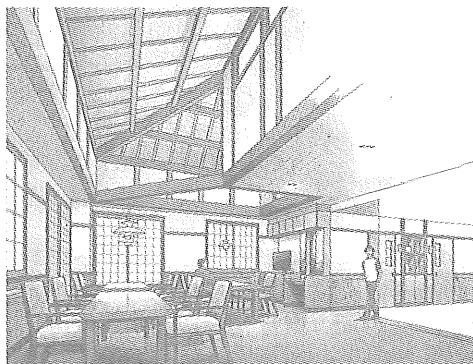
2011年10月1日

発行 社会福祉法人 大阪福祉事業財団
高槻四施設・ふれあい編集委員会
大阪府高槻市塚原1丁目9番1号
高槻温心寮 槻ノ木荘
ひむろこたま保育園 三島の郷

福祉相談

◎保育・子育て
ひむろこたま保育園 (695) 1516
◎おとしより
槻ノ木荘 (694) 0716
◎障害者・生活保護
高槻温心寮 (696) 5922
◎障害者
三島の郷 (688) 0768
お気軽にご相談ください
月～金 (10時～16時)

ふれあい



三島の郷建て替え

みんなの願いをかたちに

起工式から4カ月たち、建て替え工事も順調に進んでいます。慣れ親しんだ建物の解体に戸惑う利用者の方もおられますが、大きなクレーンをはじめ様々な重機が入ったり、仮設の建物ができたりと日々変化していく工事現場に興味津々、楽しんでいる方も多くいます。利用者の方の多くは建て替え後の生活に夢や希望を膨らませ、楽しみにされていますが、一方で生活ス

念願だった わたしのへや

三島の郷では、これまで100名での「大きな集団」での暮らしが中心でした。個別の配慮が必要な方には食事や入浴などの場面などで、その都度その方に合わせた対応を行ってきましたが、建物の構造上困難なものもあり、一定の制約があることは否めませんでした。

今回の建て替えでは、利用者の方の居室はこれまでの4人部屋から個室へかわります。共用部もユニットケアを想定し、食事も10名

程度での小集団で摂ることができるようになりたいと考えています。

個室によるユニットケアは、これまで高齢者向けの生活施設で導入されてきています。生活単位を少人数にすることのメリットは、より家庭に近い雰囲気と環境を作ることができると、プライバシーの保護や円滑な人間関係づくりができる、自由度の高い日課やケアを受けることが可能になる、さらには施設内の感染対策にも有効であることなどが挙げられます。近年知的障害の方の生活施設においても導入され、利用者の方の生活を豊かなものにすることに成功しています。

新しい施設では、建物だけでなく「くらしの中身そのもの」を大切にしたい、より一人一人に寄り添ったくらしづくりを目指していきたいと考えています。

(三島の郷 尾山)

雨のち晴

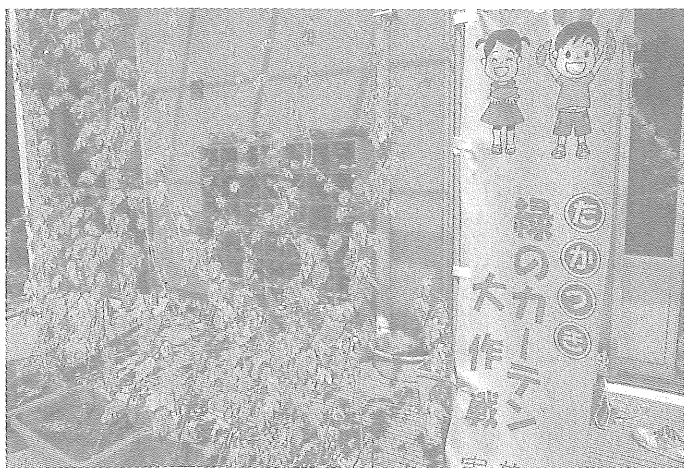
9月1日東電福島第一原発から3キロ圏内にある住民が一時帰宅しました。「最後の見とどけの日、諦めの日になりました」と話す大熊町の女性。その表情から無念さが伝わって来ました。

3・11東日本大震災から半年になりますが、仮設住宅の遅れ、立地条件の問題等で避難所生活を余儀なくされている住民が岩手・宮城県ともに3000人くらい、福島県から県外への避難者は5万人以上と言われています。放射能被害の大きさは日増しに私たちの生活を脅かしています。

「安全と言われた原発」神話は崩れ、10年後まで残る「負の遺産」として。

私の生まれ育った新潟県旧巻町は1996年原発設置の是非を問う住民投票で反対派が勝利し、原発設置を許しませんでした。今、「原発ゼロ」に向けて、私たちが出来ることから進めて行きましよう。

(弟子丸)



グンジョット



緑のカーテン
ひむろこだま保育園

この夏、高槻市が取り組んでいる緑のカーテン大作戦にひむろこだま保育園も取り組みました。

節電を言われ続けた夏、これで少しは節電や温暖化防止に貢献できたかな、と思います。

第11回

ぬくもりふれあい福祉展

私たち同じ法人の4施設が日ごろの取り組みの成果を地域のみなさまに知っていただくために、毎年開催しています。お気軽にお立ち寄りください。

日時：11月19日（土）～20日（日）
10時から17時まで

場所：イオン高槻 1階スタジアムコート

内容：各施設利用者の作品展示と販売（編み物、陶芸作品、染物、和紙製品、子ども絵画、その他）
手作りのパウンドケーキ販売

お問い合わせ先

槻ノ木荘 上杉まで（電話 072-694-0716）

または、各施設までお問い合わせください。

※入場は無料です。



第32回

ふれあいひろば

まもろう平和とくらし、つくろう住民本位のまちを



平和のコーナー

原発事故による長年に及ぶ大きな被害や憲法9条について再認識していただく場や

親子のコーナー

今年も手作りおもちゃ、パペットシアター、ボーイスカウトによる「火起こし体験」を行います。好評の近大相撲部のみなさんによるちびっこ相撲も行います。「子どもの虐待防止」活動キャンペーンを行います。

障がい者コーナー

市内の障がい者作業所の日頃の活動、作業内容の紹介をします。自主製品の販売、実演も予定しています。

いきいきコーナー

世代を超えてみんなが豊かに暮らせる街づくりをめざしてバリアフリー、ノーマライゼーションを考えます。

趣味のコーナー

地元で活動されているボランティアグループの協力を得て手作り作品づくり、趣味を拡げるコーナーを検討してい

参加協力券の普及にご協力を

「ふれあいひろば」の運営をささえ、大きな財源となる「参加協力券」（1枚200円、福引券付き）の普及にご協力をお願いします。各施設でも取り組んでいます。ご不明な点はお気軽にお問い合わせください。

福引景品のご紹介

特等	有馬温泉一泊ペア招待券		1本
1等	扇風機（はねなし）		5本
2等	加湿器付き空気清浄機		8本
3等	地元産新米（5kg）		20本
4等	QUOカード（商品券）		30本
5等	障がい者施設手作り製品		400本
6等	ファンシーグッズ		

参加協力券（半券）と引き換えますので、大切に保管しておいて下さい。



模擬店コーナー

うどん、焼きそば、ジュースなど食べ物の模擬店も多くあります。また、恒例の手作り作品の販売やバザーのお店もあります。楽しみにして下さい。

食文化のコーナー

毎年好評の「手打ちうどんづくり」は今回も行います。

ミニ動物園

毎年大人気で、子どもさんも楽しみにミニ動物園今年もやってきます。ポニーやアヒル、うさぎなど小動物とのふれあいを楽しんで下さい。

10月16日（日）
10：00～15：00

上の池公園（雨天決行）

今年、東日本大震災による津波、原子力発電所の事故により、多くの方々が被災されました。被災者の方々はそれまでの生活が破綻し、生活の先行きが分からない不安に襲われて生活されています。私たちは、一日でも早く以前の生活環境をとりもどされることを願うと共に、出来る限りの支援をしていきたいと考えています。

今年は私たちを取りまく災害や生活不安について、これまで以上に考えさせられる年となつてしまいました。例年以上に、私たちの求める「安全・安心な街づくり」について考えていきたいと願い、「ふれあいひろば」を開催します。皆さまお誘い合わせのうえに参加ください。

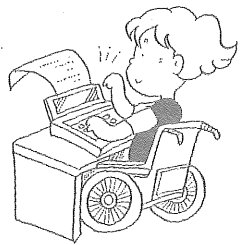


Q 平成24年4月に障害者自立支援法が一部改正されるのに伴い、サービスを利用するにあたり、あらかじめケアプランを立てなければならぬと聞きましたが本当でしょうか？

Q & A

自立支援法の ケアプラン作成

A 介護保険と同じように、障害福祉の分野でも、相談支援専門員がサービス利用計画を立てる仕組みがありますが、義務づけられてはいないので、ごく少数の人しか利用していません。4月の改正で相談支援事業の充実が掲げられ、新たに計画相談支援が始まります。対象者は障害福祉サービスを利用する人全員で、あらかじめ立てられたケアプランをもとに



サービスの支給量が決定されます。高槻市では、3年をかけて全員にケアプランを立てるようにしていくそうです。なお、ケアプランは自分で作成することもできます。

大阪福祉事業財団は、権利としての真の社会福祉の確立をめざして各種事業を展開しています。みなさまのご協力をお願いいたします。

個人会員 一口3000円
申し込み・各施設または大阪福祉事業財団後援会
(電話) 06-6931-2983 まで

秋空の下、おいしい物を食べて、新しい体験をし、歌あり踊りあり…大人も子どもも一緒に楽しめるのは祭りの良さですね。そして平和な社会であってこそ祭りを楽しむ事ができます。第32回ふれあいひろばでは、私たちも安心できるくらいと平和への願いを発信していきます。

(宮内)

編集後記

夏休みは毎年実家のある山口県に子供(男の子2人)を連れて帰っています。が、ここ2年ほどはちよつと肩身の狭い思いをしています。それというのも当家



尾山
(三島の郷)



にて70年ぶりに誕生した姪っ子の存在が大きいのです。(生まれるまで周囲からも「どうせ男」と言われてましたが…) これまでは実家に親類が集まっても周

囲は男だらけで子供たちも好き勝手、暴れ放題にのびのび(?) やっていたのですが、一人女の子が入るだけで子供同士でも気遣い、はれ物にでも触れるかのようになっている様子は少々おかしくもあります。

親の方はたまの休みに静かに過ごせるようになっていいのですが、うちの子をはじめ甥っ子たちにとってはちよつと緊張感のある夏休みとなっています。

財団後援会 10周年記念事業

「わらび座ミュージカル アトム」

「火の鳥 鳳凰編」に続く、わらび座×手塚治虫作品の第二弾！舞台は、アトムの時代が終わり、ロボットが人間に絶対服従を強いられている時代。ある人間とロボットの出会いが、人間らしさとは何かを私たちに問いかける。わらび座が創り出す新しいアトムの世界をぜひご覧下さい。

■日時 2011年12月3日(土)

開場 14:30 開演 15:00

■場所 クレオ大阪中央

住所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25

最寄駅：四天王寺前夕陽ヶ丘駅(地下鉄谷町線)

1・2番出口から北東へ徒歩約3分

●チケット 大人 4000円 子ども 3500円

●問い合わせ先 大阪福祉事業財団後援会

TEL 06-6931-2983